



## 白髪神社まで「走り初め」をし、安全必勝祈願をしました。

元日は、今年も晴天に恵まれ、少年剣道部員全員と中・高・一般の剣士も参加して毎年恒例の「走り初め」を行いました。Aコープから白髪神社までの約1.5kmを走り、境内で初稽古の素振りを大きな声でした後、宮司さんに安全必勝祈願をしていただきました。最後に、少剣親子菜園で収穫した小豆のぜんざいをお母さん方からいただき、元気に楽しく恒例の行事を終えました。



## NHKテレビ「とさ金」で 土佐町少年剣道のドキュメント番組を放送 県内各地の方々、剣道界の方々に大変好評でした。

1月11日(金)NHK放送の「とさ金」で、土佐町少年剣道の親子剣士が母親剣道教室から剣道交流大会の親子対抗戦までの間、様々な場面でかかわり、親子試合を通して絆を深めていくドキュメント番組が放送されました。放送後、県内各地また剣道関係者の方々からたくさんのメッセージや応援の言葉をいただきました。



## 土佐町中学校 高知県中学校剣道冬季大会 男女ダブル入賞 男子団体3位・女子団体3位 同時四国大会出場 土佐町史上初

2月10日高知県中学校剣道冬季大会で土佐町中学校は、男子団体・女子団体でそろって3位入賞し、四国選抜大会に出場しました。男子団体の県大会での入賞は土佐町中学校としては初で、統合前の森中学校が昭和49年に2位・3位、50年に3位に2度入賞して以来で、男女同時入賞は土佐町史上では初の快挙です。

男女チームは、3月2日の四国大会に出場し、残念ながら入賞はできませんでしたが、女子団体は16チーム中6位と入賞まで後一步のところまで健闘しました。



## 全国スポーツ少年団剣道交流大会 小学生団体 敢闘賞

3月26日～28日 静岡県藤枝市で第30回全国スポーツ少年団剣道交流大会が行われ、高知県チームは、小学生団体で見事 敢闘賞を受賞しました。

土佐町スポーツ少年団剣道部は、一昨年までの単独チーム4年連続出場を含め6年連続の出場となりました。一昨年から県選抜チームとなった小学生団体には宮本空実が高学年女子(次鋒)で、中学女子個人には、高石和佳が選出され出場しました。小学団体で高知県は、予選を2勝0敗で勝ち上がり、決勝トーナメントは地元静岡に敗れましたが、敢闘賞を受賞しました。中学生女子個人に出場した高石和佳は、予選リーグ1勝1敗で中学女子の連年の敢闘賞はなりませんでした。



## 高知県剣道祭に土佐町から8名 模範試合 高橋亮太選手が優秀試合賞

4月6日、高知県剣道連盟主催の剣道祭において、県下小中学剣士約1千名の中から選出された小学生低・高学年男女各10名および中学生男女各8名の模範試合が県立武道館で行われ土佐町少年剣道からは6名の選手が、土佐町中学校からは2名の選手が模範試合に出場しました。模範試合の結果、高橋亮太選手が優秀試合選手に選ばれました。出場選手は以下の通り。

小学高学年：高橋亮太、宮本空実 小学低学年：和田創貴、高橋尚希、光富 鈴、井手あかり  
中学生男子：高石昌悟、中学生女子：長野れみ



## 4名が土佐町少年剣道を巣立ち。全員が土佐町中剣道部へ

今年の卒業生は、男子3名女子1名の4名です。少人数の学年ながら、数々の大会で優勝、入賞を果たしてきた4名が、土佐町少年剣道を巣立っていきました

また、送別試合では、母親との4:4の団体戦を行い、お母さん剣士は大健闘先鋒 高橋親子、次鋒 千頭親子は相譲らず引分、副将 和田母は 悠伸から1本を先取したものの逆転負けで、勝敗は大將 宮本親子へ、12月の親子試合で屈辱の2本負けをした空実がリベンジを果たし2:0で卒業生チームが勝利しました。試合には「とさ金」のスタッフも応援に駆けつけ、楽しいひと時を過ごしました。

